

津山城（かくざん鶴山公園）

岡山県津山市



津山城（鶴山公園）空撮



森忠政像
©岡山県観光連盟

津山城は、岡山県津山市街の中心にあり、南に吉井川、東に宮川が流れる丘陵一帯に位置する。本能寺の変で討死した森蘭丸の弟、森忠政が、1604年に築城にかかり1616年に完成させた。築城に約13年かけられた城は、五層五階、地下一階の天守と70以上の櫓、それらを取り巻く石垣や堀など、かつての美作国の国主としての威信を誇るものであった。

忠政は晩年、美濃国、京や大坂から職人を呼び寄せ、「美濃職人町」、「新職人町」をつくり経済の振興をはかり、吉井川の堤防工事、道路整備と宿場の新設など、公共事業を始めとした多種多様な政策で津山藩の地盤を築いた。

1873（明治6）年の廃城令を受け、天守その他の建物は全て取り壊され石垣のみが残された。「一二三段」と呼ばれるひな壇に造成され、地上から45メートルに及ぶ立派な石垣が当時の面影を残す。2004年の築城400年の記念事業として天守の南東側の備中櫓が復元された。

城跡一帯は「鶴山公園」の別称で親しまれ、「日本さくら名所100選」にも選定され、桜の季節には毎年多くの人を訪れる。

※表紙写真 写真提供：ピクスタ kazukiatuko / PIXTA（ピクスタ）

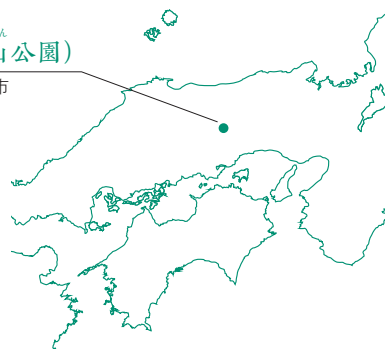
■アクセス

- JR津山駅より徒歩約10分
- 中国自動車道津山IC・院庄ICから約15分

（表紙の写真）

津山城（かくざん鶴山公園）

場所：岡山県津山市



<参考>

「美作国の山城」（津山市教育委員会、2011年）
「岡山観光WEB」

<https://www.okayama-kanko.jp/spot/10439>